

Title	前嶋信次略歴
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1971
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.44, No.1 (1971. 11) ,p.112- 114
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19711100-0112">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19711100-0112</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 前嶋信次略歴

明治三十六年七月二十日 山梨県東八代郡南八代村で生れる。（現在の八代町南）父は玄長、母はたけじ。二男三女の末子。生家は代々医を業とした。

明治四十三年 八代尋常高等小学校に入学。大正五年三月に卒業。

大正十年 山梨県立日川中学校（現在日川高校）を卒業。

大正十三年 東京外国语学校仏語部文科を卒業。

昭和三年三月 東京帝国大学文学部東洋史学科を卒業。渡台す。

昭和三年四月より 台北帝国大学文政学部助手。この間六年四月より一年間、台北高等学校尋常科の非常勤講師を兼任。

昭和七年三月末まで

昭和七年四月より 台南州立台南第一中学校教諭。歴史科主任。（十四年八月、満鉄東亜經濟調査局西南アジア班に入ることとなつたが、台南にて後任なきため翌十五年五月二十五日まで勤務した）

昭和十五年六月より 東亜經濟調査局に勤務。（所員より調査員、更に副参事となる。この間、明治学院に非常勤講師として出講した）

昭和二十年末まで 慶應義塾大学語学研究所員となり、二十六年四月同文学部非常勤講師を兼ねる。二十七年四月

より同外国语学校講師をも兼任。（フランス語科）

昭和二十七年四月より

三年間東京外国语大学仏語部兼任講師。

昭和二十八年十一月

「東西交通史上に於けるイスラム勢力の消長」を学位論文として提出し、文学博士の学位を受

く。

昭和二十九年四月より

慶應義塾大学文学部専任講師。

昭和三十一年

同教授。

昭和三十二年

東京都立大学社会学科大学院非常勤講師。(一年間)

昭和三十三年六月

日本オリエント学会理事。

同年

東北大学文学部東洋史学科非常勤講師。(集中講義。三九年に再度同大学に出講)

昭和三十四年四月より

東京大学教養学部大学院比較言語及び文明科非常勤講師。(一年間)

昭和三十五年八月末より

フルブライト全額支給交換研究員として、シカゴ大学東洋の言語及文明科(三十六年一月末まで)およびプリンストン大学東洋研究科(三十六年七月八日まで)にて研究に従事。そのあと英、仏、西、スイス、伊、ギリシア、トルコ、アラブ連合、レバノン、タイ諸国の史蹟、大学、博物館等を見学し、三十六年十月末帰国。

昭和三十七年四月より

東京大学文学部非常勤講師としてイスラム文化を講義。(一年間)

同じく東京教育大学文学部非常勤講師としてイスラム史を講義。(一年間)

昭和三十八年

金沢大学文学部東洋史学科非常勤講師。(集中講義)

昭和四十二年八月

国際東洋学者会議に出席のためミシガン大学その他に旅行。

昭和四十三年

日本オリエント学会常任理事。(四十五年に再選され現在に至る)

昭和四十四年三月下旬

ソ連領中央アジア、カフカーズ、モスクワなどを旅行。

四月上旬にかけ

昭和四十五年

十月一日より

慶應義塾大学言語文化研究所長。

同四十六年三月三十一日 定年をもって慶應義塾大学教授を退職。言語文化研究所長も同じ。三月末よりソ連領中央アジア

アに短期旅行。

同年 四月一日 慶應義塾大学名誉教授。同文学部研究科講師。青山学院大学文学部史学科非常勤講師。金沢大学文学部非常勤講師。東京都立大学非常勤講師。他に中東調査会及日本サウディ・アラビア協会各理事。アジア、アフリカ言語文化研究所運営委員などを兼ねている。